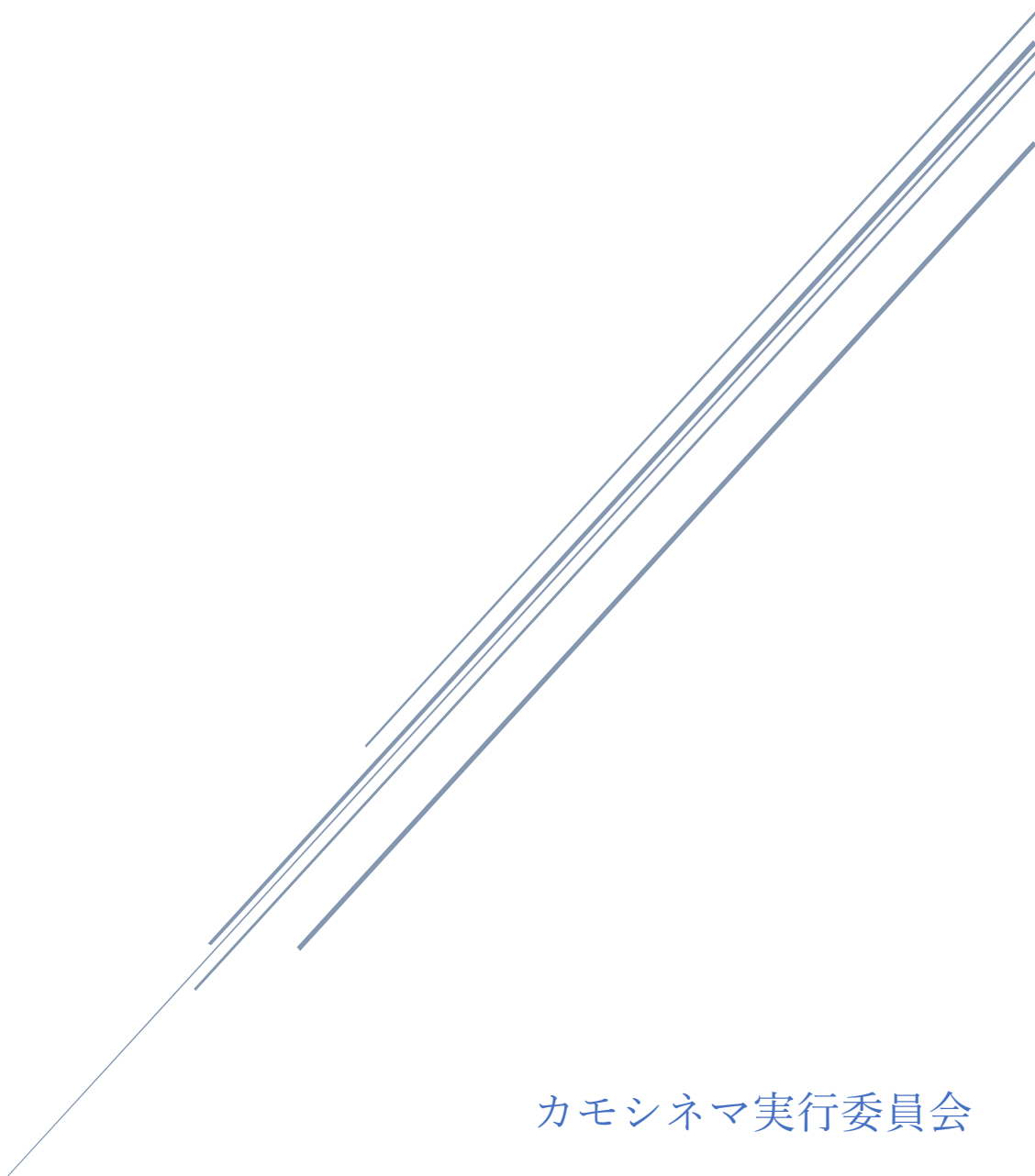


# カモシネマ資料



カモシネマ実行委員会

令和4年 12月

## 目 次

	頁
1. 背 景	1
2. 検討状況	2
3. これまでの企画 カモシネマ映画上映 上映作品	3
4. 助成金・協賛金	8
5. 広報	9
6. 協力団体	12
7. 当日（8月20日）の運営について	13
7-1 当日までの準備	13
7-2 翌日の準備	14
7-3 各サブイベントの実施・結果	15
8. 映画上映会の実施・結果	17
9. 今後の改善点	21
10. 今後の展開・未来ビジョン	23

## 1. 背景

かつて、鴨川宮崎町に下鴨撮影所があった。

日本初期の映画スター「尾上松之助」さん(下鴨葵公園に記念碑)の歴史 日本映画の発祥とも言える地である。

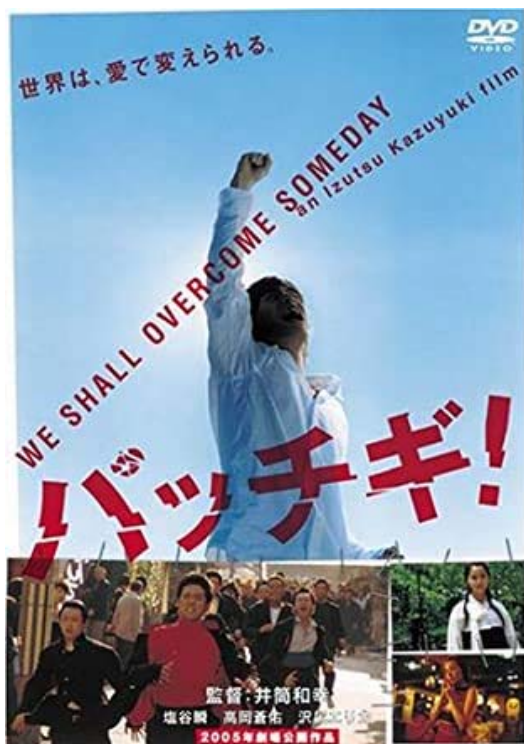
20年前井筒和幸映画監督が、「パッチギ!」という映画で実際に撮影した鴨川で、学生のために映画を盛り上げていこうという機運作り。

現在の荒神橋から加茂大橋の右岸広場を、夏の「鴨座」とよぶ。

各大学広告研究会からなる関西広告連盟を事務局として、その一員になって歴代、様々な映画上映に取り組んでいた。

その後、立命館大学が事務局を引き受け現在に至り、長い伝統を持つ実行委員会である。

当時は「鴨川納涼」のプレイベントとしても実施。



映画「パッチギ!」



府立鴨川公園 尾上松之助像  
京都府 HP より引用

〈 <https://www.pref.kyoto.jp/c/hiiki/matunosuke.html> 〉

## 2. 検討状況

### 映画上映

カモシネマ委員が、上映したい映画の候補を挙げ、多数決をし、映画センターにいくつかの候補の映画を提案し上映代金と予算をすり合わせて決定する。カモシネマ委員の趣味の映画。鴨川に関連する映画を上映するのも良いと考えられる。(パッチギ!、鴨川ホルモーなど)

### かもあそ(鴨川で遊ぼ)

子どもたちに楽しんでもらえるような企画作り、企画を通して鴨川のことを知ってもらう企画。子どもを連れた家族連れを呼び込む狙いもある。

### 古本交換会

本の交換で、人と人との交流を生み出す。かもあその他に、来場者に楽しんでもらえ、参加型の企画を考えた。

他サークル協力。鴨川美化のため、地域貢献のため。カモシネマに協力してくださっている鴨川を美しくする会様など、鴨川関連団体の活動に協力。

### 3. これまでの企画 カモシネマ映画上映 上映作品

#### カモシネマ 17

「音楽」



#### カモシネマ 14

「セトウツミ」



#### カモシネマ 15

「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」



#### カモシネマ 13

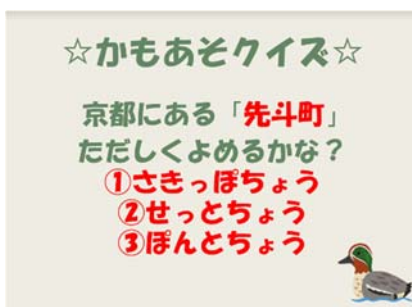
「ソラニン」



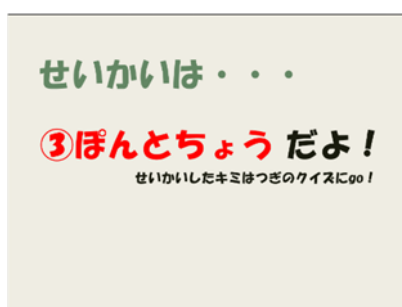
## かものがわであそぼ

### カモシネマ 17

かものがわクイズ、スーパーボールすくい



かもあそクイズ



スーパーボールすくい

### カモシネマ 15

輪投げ、スーパーボールすくい

### カモシネマ 14

運試しゲーム、間隔ゲーム

王道宝探しゲーム、感覚(重さ当てゲーム)



企画中の様子

## クリーンハイク



ごみ拾いの様子



収集後



クリーンハイク  
説明の様子

## その他企画

### 古本交換会



準備の様子



交換の様子



## 4. 助成金・協賛金

### 助成金

学まちコラボ助成金

京都府地域交響プロジェクト

立命館大学校友会未来人材育成奨励金

### 協賛金

フライヤー、Tシャツ(カモシネマ17ではなし)での広告掲載。

**フライヤー広告について**  
デザインの大きさや値段は以下の表のようになっております。

値段	サイズ	広告番号
¥70,000 (記事二面)	A5×2面	①
¥50,000 (記事広告)	A5	②
¥30,000	A5 1/2	③
¥15,000	A5 1/4	④
¥7,000	A5 1/8	⑤

・ スタッフTシャツでのロゴ掲載 ¥4,000

The diagram shows a flyer layout with five numbered sections: ① is the top half, ② is the bottom left, ③ is the bottom right, ④ is a small square in the bottom right, and ⑤ is a small square in the bottom right.

## カモシネマ 17 協賛企業

京都府薬務課、安田ソース、もじゃ、糸仙、神馬、タコとケンタロー、浪漫屋、やきとり雷、なんくる食堂、中川酒店、piu café、CHANDER 丸太町店、ますたに、SOCO、ミルトンズ京都、京都祇園花月、カモシネマ 17 応援枠 伊藤隆二、役者でない、デカイ穴カモシネマ委員、広告研究会員で分担し店に電話。

協賛金は断られても、パンフレット設置を認めてくれるところも。営業に伺った先で、偶然お会いした方が協賛金を出してくれることもあった。

契約書を作成。

## 5. 広報

### 方法

ポスター、ビラ、パンフレット、鴨川納涼参加、Twitter、Instagram

### ポスター設置

嵐電四条大宮駅、叡電出町柳駅(1 週間)

立命館大学衣笠キャンパス校内 小学校、中学校など



## ビラ配り

立命館大学内(衣笠キャンパス)、四条河原町(ディズニーストア前)、  
出町柳駅前、鴨川納涼

## 広報物設置箇所 (営業先含む)

京都府薬務課、ヤスタソース、GOLDEN MOJA HALL、糸仙、よしもと  
祇園花月、神馬(しんめ)、タコとケンタロー、浪漫屋 白梅町店、や  
きとり雷、ナンクル食堂、中川酒店出町柳店、piu café、CHANDER 丸  
太町店、デカイ穴、ますたに、SOCO、ミルトンズ京都、役者でない、  
伊藤隆仁、くれしま、もなか堂、Cecil hair、シャボンヴァークス、  
Lucia hair stella、スノッブエンバンプ、力餅食堂加藤商店、つち  
福食堂、フランス食堂 ekaki、京都ぐら、芳月、天喜、ワンダアカフ

エ、ダイニング居酒屋 nanana(ナナナ)四条河原町店、野菜逸品五十  
棲(いそずみ)、井上書店、さらさ西陣、恵文社一乗寺店 いふじ

## 映画館

みなみ会館、京都シネマ、アップリンク、出町座



パンフレット(表紙)

## WEB 掲載

“KYOTO design <https://kyoto-design.jp/event/request>

京都イベントなび

<https://www.kyoto-minpo.net/event/post-form>

京都まいふれ <https://sakyokita-kyoto.mypf.net/>

デジスタイル京都 <https://www.digistyle-kyoto.com/inquiry/>

いこーよ <https://iko-yo.net>

京トーク <https://kyo-talk.jp/contact/>

協同組合インフォメーションテクノロジー関西

<http://www.itak.jp/docoico.html>

阪急電鉄 KYODENT

## 6. 協力団体

クリーンハイク

京都まち美化 他大学、他団体(当日は参加をお断り)

- ・京大環境サークルえこみっと
- ・立命学生防災サークル FAST
- ・イマ\*イチ編集部 (同志社大学広告研究会)

## スクリーン設置

ウノダ工務店

## 必要なものをレンタル

さんきゅうレンタル

## 電気関係

中田電工

## 許可・占有許可など

京都府京都土木事務所

## 協力団体

- ・ 鴨川を美しくする会
- ・ 鴨川流域ネットワーク

## 7. 当日（8月20日）の運営について

### 7-1 当日までの準備

迎えた当日の朝、天候は曇りであったが、イベントが行われる肝心の**午後の時間帯は雨予報**であった。開催地が鴨川のすぐ近くであることから、無理な雨天決行は**川の氾濫やぬかるみによる転倒・強風によるスクリーンの横転などの危険**が伴う。幹部ミーティ

ングでは、運営スタッフや観客の安心・安全を確保するためにも、  
20日は中止、予備日の21日に変更するという結論に至った。

## 7-2 翌日の準備

21日の朝10時、当日参加可能なカモシネマ委員（総勢25名）  
で設営に取り掛かった。炎天下の中、経験したことのないテントの  
組み立てや、豪雨などの様々な困難に悪戦苦闘しながらも、予定時  
間にはスクリーンの設置・かもあそ・古本交換会・本部テントすべ  
ての設営が完了した。（以下、実際の設置の様子）



### 7-3 各サブイベントの実施・結果

「**かもあそ**」(鴨川で遊ぼ)

(クイズスタンプラリー・スーパーボールすくい)。

「**古本交換会**」を「来場者の環境保全意識の向上」のため実施した。

本を通じた読者同士の間接的なコミュニケーションを図るため、  
展示されている全ての本には寄付をした本人(匿名)からの直筆  
メッセージを挟む。「古本交換会のために来た」という来場者や、  
小さな子どもから年配の方まで幅広い年代の来場者が見受けら  
れた。

「クイズラリーは子どもをターゲット」

**楽しみながら環境保全意識を向上**させるため、「鴨川の美化活動」  
に関する問題を出題。

例) 鴨川のキレイを守る だんたいのなまえはどれ?

①鴨川をわらわせる会 ②鴨川を美しくする会 ③鴨川をおこら  
せる会 など

(以下、実際の様子)

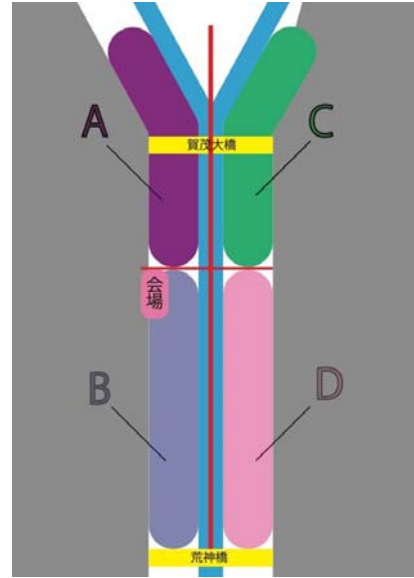




## クリーンハイク

雨が止んだ後、実行委員のメンバーのみでクリーンハイクを再開した。右図のように2~3人でA, B, C, Dに分かれ、鴨川の岸に落ちているごみを拾った。

雨が降ったのもあってか予想よりもごみは少ない印象だったがゼロではなかった。クリーンハイクに用いるゴミ袋、軍手、火ばさみは鴨川を美しくする会様などに協力を得た。



クリーンハイクの様子

## 8. 映画上映会の実施・結果



今回の映画上映会にて、「音楽」という映画を上映した。この映画は、岩井澤健治が監督、脚本、絵コンテ、キャラクターデザイン、作画監督、美術監督、編集を担当しており、4万枚を超える作画で構成されている長編アニメーション映画で

ある。楽器に触れたことすらない不良3人組が「古武術」というバンドを結成し、音楽を始める。強力なライバル出現や仲間とのすれ違いなどの困難を乗り越え、自分たちの音楽スタイルを模索していくというこの作品は、シュールなセリフや間合いの中に笑いや

感動を含んだ前代未聞の作品であり、ネット上で大きな話題を生んだ。

カモシネマ全体会議にて、ネットの話題性による**集客効果の期待**、全て手書きで描かれたアニメーションの画風が**鴨川の落ち着いた風景とマッチしている点**、老若男女問わず**どの世代でも楽しめる内容**であることを理由にこの映画が選ばれた。

鴨川河川敷広場にスクリーン（縦3.7m 横6.3m）を設置し、野外映画上映を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、来場者の検温・消毒ソーシャルディスタンスの確保などの嚴重な感染症対策の元でイベントを行った。また、本イベントは鴨川の出水期に行われるため、鴨川の水位上昇等の場合に備えて安全管理対策本部を設置し、雨水時・緊急時は安全対策関係資料の規則に基づいて速やかに対応できるようにした。さらに、



映画上映前に鑑賞マナーに関する禁止事項・熱中症や感染症対策に関する呼びかけや、協賛組織である京都府薬務課からの薬物使用禁止に関する映像を投影し、来場者の防犯意識向上にも取り組んだ。



(左：実際の映像スクリプト 右：感染症対策の様子)

3年ぶりの開催となったカモシネマは新型コロナウイルス感染症「第7波」の真っ只中にもかかわらず、100人以上の来場者を記録した。来場者の主な来場理由は、

- ・「大学内で配られたピラを見た」
- ・「店舗に貼られたポスターを見て興味を持った」
- ・「野外映画上映会というイベント自体に興味を持った」
- ・「カモシネマの取り組み自体が好きで、毎年欠かさず来ている」
- ・「この映画に元々興味があった」

など、様々な理由が見受けられた。

映画自体に話題性があったので映画目当てに来場するといった人も多く、映画の話題性に便乗したカモシネマの認知フェーズの拡大も感じられた。今年度はクリーンハイクの中止により他大学同士の交流は少なかったものの、クリーンハイク自体の取り組みは同志社大学や京都大学などの鴨川付近の大学生が来場するきっかけに繋がったといえる。

今年のカモシネマは、3年間開催されなかったことから引継ぎ・スケジュール感覚が不十分であった。それに加え、新型コロナウイルス感染症対策にも新たに取り組む必要があったため、様々な初めての経験に悪戦苦闘した。そのような困難に見舞われながらも本イベントを無事開催できたことは、カモシネマ運営委員にとってかけがえのない貴重な経験となり、スキルアップにもつながった。



## 9. 今後の改善点

- ・ スケジュール感覚・情報共有が不十分であった。急ピッチで事業を行ったためにうまく情報共有ができず、危うく大きなトラブルになりかねないような事例もあった。各部門での役割を全員がしっかりと把握し、毎回の全体会議にて報告を行う

- ・ 重要な助成金の手続きなどはほとんど上回生のみで行っていた。引継ぎの観点から、新入生も多く関わるべき。

- ・ 協賛企業の広告を掲載する際、ラフ案に対する修正対応などで入稿が遅れた。時間に余裕を持つため、営業時期を早める（5月中には営業電話を終わらせておく）

- ・ 時間が足りなくて最低限の広報活動になってしまった。また、日中企画「かもあそ」や「古本交換会」などの広報活動にまで手が回らなかった。映画上映以外のイベントの広報活動内容についても考え直す。

- ・ 上映映画の決定が遅れると、広報・営業・渉外部門すべてに遅れが生じるので、上映映画の決定を最優先事項にする。

・今回のカモシネマでは来場者アンケートは任意で行ったが、今後のさらなる集客・企画内容の充実に向けて来場者アンケートを義務化する方針で進める。

- ・他企業・大学との連携を増やす
- ・来場者の「鴨川の美化意識向上」をさらに促せるような新しい企画を学生目線から考える必要がある。ただイベントを運営するだけでなく、映画目当てで来場した人にどうすればもっと美化活動に興味を持ってもらえるかを考える必要がある。

全員、イベント未経験者であったため、実際の規模感が分からないまま準備を進めていた。来年はイベント概要を把握している委員で企画を実行していくので、今回の実務経験を生かして本イベントを次の世代に受け継いでいきたい。

## 10. 今後の展開・未来ビジョン

最大の目標

- ① 参加者の美化意識の向上
- ② カモシネマの認知拡大
- ③ 地域・学生・企業とのさらなる連携

4つの未来展望・具体案

- ・ 新たな広報活動の検討

- ・ デジタルサイネージ広告

→駅構内のデジタルサイネージ広告を使うことができた場合、京都市内だけではなく全国規模での集客効果が期待できる。

- ・ YouTube のバンパー広告

→YouTube 広告の中でも、スキップできない6秒CMであるバンパー広告は低価格でも十分な広告効果が得られるため、実現可能性が高い。

- ・ 他大学との連携強化

- ・ カモシネマと連携した学生鴨川清掃団体「ピカカモ」の設立

→クリーンハイクをさらに盛り上げるための具体案。大学のサークル・団体で構成された学生清掃団体を設立して他大学との連携



強化を図り、普段は関わることのない大学生同士の交流の場としての役割も果たす。メディアによる話題性も期待できる。

- ・ **企業との連携強化**

- ・ **企業とコラボした「企業出店ブース」の設置**

→カモシネマ協賛企業によるいくつかの出店ブースを設立。企業の広報活動への貢献、映画を見ながら飲食ができるという点はイベントの内容充実・来場者の満足度にもつながる。企業との連携を深めるための具体案であるが、食物に関する出店は新たな規制（ゴミ問題など）に対応する必要があるため実現可能性は低いが見込みあり。

- ・ **SDGsの取り組み強化**

- ・ **フードロスブースの設置**

→SDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」を目指し、出荷に満たない出来により捨てられてしまう野菜を京都の農家から譲り受けた後、ブースにて配布。フードロスに取り組んでいる他団体とのコラボ企画などを通

じて、他大学との連携強化も期待できる。

- ・ **SDGs ブースの設置**

→今回のカモシネマで設置された古本交換会も SDGs のゴール 12 「つくる責任 つかう責任」に基づいて企画されたものである。上記で提案したフードロスブースと合併した SDGs ブースを設けることは、組織の持続的な成長にもつながり、社会的責任を果たす役割を持っている。さらには、各メディアからの取材による話題性も期待できる。

目標：企業・社会・地域・学生をつなぐカモシネマ

